

新潟県社会福祉士会

事務局だより

Niigata Association of
Certified Social Workers



▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽
2024年度からの事務局だよりの一部デジタル配信について（お願い）
2024（令和6）年度事業計画・予算案
対人援助スキルアップセミナー報告
2023年度の基礎研修が修了
求人情報（新潟県社会福祉士会職員、弥彦村社会福祉協議会職員、見附福祉会生活相談員）
2024年度年会費口座振替予定について
部活動メンバー募集
退職のご挨拶

Facebook



Instagram



YouTube



OfficialSite



発行：

公益社団法人新潟県社会福祉士会
〒950-0994新潟市中央区上所2-2-2新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502/FAX：025-281-5504

Mail：njacsw@poplar.ocn.ne.jp

URL：https://csw-niigata.com/

2024.2.9対人援助スキルアップラジオ
ご視聴ありがとうございました



2024（令和6）年度からの 事務局だよりの一部デジタル配信について（お願い）

会員の皆様におかれましては、日頃は当会の運営にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

当会では「事務局だより」を概ね2ヶ月に1回発行し、現在はヤマト運輸のメール便サービスを利用して会員の皆様に送付しております。

このたび、ヤマト運輸をはじめとする運送各社より、2024年4月以降の送料の大幅な値上げが要請されました。これにより当会の通信運搬費がこれまでの約1.6倍と急騰する見込みであり、また、今後日本郵便の郵送料金も値上げが予定されているところです。

つきましては、年会費額を値上げせずに会員サービスを可能な限り維持するために、2024年4月より、事務局だよりの提供方法を下記の通り変更させていただくことといたしました。

会員の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますよう賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

【事務局だよりの提供方法】

- 年間を通じて発行するもの（年6回程度）のうち、半分（年3回程度）はこれまでどおり直接送付。半分（年3回程度）はデジタル配信のみで提供。
- デジタル配信の場合は、当会ホームページに掲載したうえ、メール（ホームページ更新情報メール）にてお知らせする。
- 直接送付とデジタル配信は交互に実施。以下、2024年度の予定です（あくまで予定であり変更となる場合があります）

5月発行	7月発行	9月発行	11月発行	1月発行	3月発行
直接送付	デジタル配信	直接送付	デジタル配信	デジタル配信	直接送付

【研修案内等について】

- 当会主催の研修案内については、これまでと同様にすべてホームページに情報を掲載し、メール（ホームページ更新情報メール）にてお知らせする。
- 研修によっては、上記の「事務局だより直接送付」のタイミングにあわせて同封する場合もあります。

【会員の皆様へ、メールアドレス登録のお願い】

- 現在、当会からの「ホームページ更新情報メール」に登録いただいているのは約900アドレスです。ホームページ更新情報メールは、月3～4回（おおむね1～2週間に1回）、登録いただいたメールアドレスにお送りしています。
- このメールの受け取り手続きをまだされていない方は、ぜひメールアドレスのご登録をお願いいたします。

「ホームページ更新情報メール」の申込方法

- 当会ホームページの「お問合せ」から「お問合せフォーム」を開く。
- 「お問合せ区分」を「会員事務手続き」とし、必要事項を記入して送信してください。その際、「お問い合わせ内容」に「ホームページ更新情報メール受け取り希望」と記入ください。

2024(R6)年度 事業計画・予算案

2024年2月22日開催の理事会にて、次年度（2024年度）の事業計画案、予算案が承認されました。

2024年度の予算は87,706千円となる見込みです。以下、事業計画内容をダイジェストでお知らせします（当会ホームページに2024年度の事業計画書・予算書を公開しています）

重点事項

- (1) 継続的な運営を可能にする組織体制の再検討
- (2) 新規会員確保、若い社会福祉士に向けた取り組み
- (3) 法人化20周年記念事業（R8年度）に向けた準備

重点事項は、プロジェクトチームや実行委員会により検討していきます



主な事業・活動予定

入会促進・会員支援

- ・若者(30歳未満)入会キャンペーン【継続】
- ・紹介キャンペーン【継続】
- ・みらい会員(学生対象)【継続】
- ・自主活動支援制度【継続】
- ・スーパービジョン支援【継続】

行政からの委託事業

- ・新潟県地域生活定着支援事業（地域生活定着支援センター）
- ・福島県外避難者支援事業（コランショ新潟、復興支援員）
- ・新潟県高齢者権利擁護相談支援事業（虐待対応専門職チーム）
- ・新潟県地域包括支援センター初任者研修
- ・新潟県介護施設職員向け虐待防止（BPSD対応）研修

実施予定の研修・講座

- ・基礎研修Ⅰ～Ⅲ
- ・成年後見人材育成研修(7/21～10/26、4日間)
- ・ぱあとなあ新潟名簿登録研修(11/16～17)
- ・福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座(基礎編8/22、実践編9/6)
- ・虐待対応ゼミ
- ・総会時全体研修(6月)
- ・対人援助スキルアップセミナー
- ・高齢者支援班実践報告会
- ・繋がりカフェ(5/18)
- ・障害者の生活支援研修(認定研修、7/22～23)
- ・障害者支援班独自研修
- ・リーガルソーシャルワーク研修(認定研修)【新規】
- ・生活支援班独自研修
- ・社会福祉士実習指導者講習会(2025年2月)
- ・実習指導者フォローアップ研修
- ・スーパービジョン体験会
- ・社会福祉士全国統一模擬試験

※ほか、ぱあとなあ新潟では、ぱあとなあ会員を対象とした各種研修（地区研修、実務研修等）を実施。

※成年後見人材育成研修は、基礎研修Ⅲを修了した翌年度以降に受講することが可能。

※社会福祉士国家試験対策講座は、2025年2月からの新カリキュラムに基づく国家試験実施をふまえて一旦休止。2025年度以降、新カリキュラムでの国家試験に対応した講座を実施できるよう検討・準備を行う。

その他

- ・ソーシャルワーカーに関する広報・啓発（ソーシャルワーカーデイ、YouTube動画作成等）
- ・ぱあとなあ新潟による後見人等候補者推薦業務
- ・あいエイド新潟による外部評価・第三者評価事業
- ・災害支援班による災害対応ガイドライン及びマニュアルの見直し、BCPの素案検討
- ・実践報告集（第23号）の編纂、発行
- ・外部機関からの依頼に基づく講師・委員等の推薦・派遣

各部門の活動方針など、詳しくは当会ホームページに掲載の事業計画書をご覧ください



法人研修班

2.9 対人援助スキルアップラジオ ご視聴ありがとうございました！



新潟で一番高い（？！）ところから生配信！

「対人援助スキルアップラジオ～ボクたち（SW）はどう生きるか」を2月9日に開催しました。当日は新潟のみならず、他県の方からもご参加いただきました！

今回の目玉は大きく分けて2つありました！

1つ目は事前の告知です。今回は告知専用のInstagramを開設し、委員で分担して定期的に投稿していました！また、事前に対談動画をYouTubeに投稿したり、ゲストスピーカーの紹介をしました。

2つ目はイベント当日の生配信です！今回はYouTube LIVEを利用したリアルタイム配信を行いました。DJに扮したスタッフとゲストスピーカーで軽快なトークや笑い、時には涙で、あっという間に時間が過ぎていきました。「どんな質問が飛んでくるのか、私たちの方がドキドキする！」とゲストスピーカーの方々も生配信特有の臨場感を感じられている様子でした！

研修の内容としては、ひとりの人間が生まれ、老いていくまでの「児童期」「青年期」「高齢期」「看取り期」において、そこにはどんな出会いがあり、どんな職種の人と繋がり、連携があるのかを深掘りしていただきました。

ゲストスピーカーの皆様、会場観覧の皆様、YouTubeをご覧の皆様、そしてスタッフの四位一体になる素敵な空間でした。

新潟にはたくさんの素敵なSWがいます。新潟から全国へ、そして世界へ！発信していきます！第2弾もお楽しみに！

（報告：法人研修班運営委員 土田純一）



当日のライブ配信の様子は、当会YouTubeチャンネルからご覧いただけます



2023年度 基礎研修 I～III 修了いたしました

社会福祉士である会員が段階的・計画的なスキルアップを目指して自己研鑽を積んでいくことを支援する「生涯学習制度」。

社会福祉士として必要な基礎知識を最短で3年間かけて学んでいく『基礎研修（I～III）』が2023年度も無事に修了いたしました。

本会では、今年度から講義部分をe-ラーニング、演習部分をオンライン研修として運営いたしました。受講された皆さま、講師を担当して頂いた皆さま、関係するすべての皆さまに厚くお礼申し上げます。

2024年度も引き続きe-ラーニングとオンラインを併用して開講いたします。

今年度受講された皆さまは次のステップに、まだ未受講の方は是非受講を検討いただければ幸いです。

社会福祉士会は皆さまの学びを応援いたします。

（生涯研修センター担当理事 稲田泰紀）



講師には、標記の水害時に現地の支援活動に入った渡邊豊会員（新潟医療福祉大学准教授）を迎へ、当時の状況と対応についてお話しいただきました。

その後はグループワークとして、「テーマ1：講演を聞き災害体験やボランティア体験を話し合う」「テーマ2：令和6年能登半島地震後の現状と支援状況をどのように思うか」を参加者同士で話し合いました。

2024.1.12
@新発田市ボランティアセンター

令和4年8月 村上・関川地域 大雨水害を振り返る会 高齢者支援班下越地区研修

テーマ1では、村上・関川大雨水害時、行政との連携がとれず社協の災害ボランティアセンター開設が難航したこと、平時からの連携作りが必要であること、同じ地域でも被害に遭った方と遭わぬ方で温度差があり住民同士の共助に繋がりにくかったことなどを、実際に活動を行った社協の方の話や災害に遭った方、施設職員の方から聞くことができました。

テーマ2では、事業所でケアチームを1/3に立ち上げて能登への支援を行っている事業所から人員を工面して支援を行っているので長期的な支援が難しいこと、新潟市西区のボランティアに参加した方からボランティアの拠点が近くにあり動きやすかったこと、村上市社協から西区に災害ボランティアのアドバイザーを派遣し水害での経験を活かしていることなど、実際に行われている支援の話を中心に支援方法などへの意見もありました。

今回の研修は過去を振り返るだけでなく、1/1に地震災害が起り、「今」起きている支援についても話題となりました。被災者になった方や支援活動を行った方から、その時に起こった出来事を生で聞ける大変有意義な時間であり、災害支援について改めて考えさせられる研修でした。（報告：高齢者支援班下越地区運営委員 井畠直行）

令和6年2月10日（土）～11日（日）、
25日（日）の3日間を使い実習指導者講習会をオンラインで実施し、約120名の実習指導者を目指す方から参加申し込みをいただきました。加えて、現任の実習指導者向けにも、新しいカリキュラムの指導方法を周知するためのアップデート研修を同時に行いました。

日程については10日実習指導概論、実習マネジメント論、11日実習プログラミング論の講義科目、25日は実習スーパービジョン論の講義と演習を行いました（※アップデート研修参加者は10、11日のみ）。

今後の実習指導においては、養成校、学生、実習指導者間の繋がりと連携がこれまで以上に重要になると考えています。受動的な態度では成功しえない、より積極的な関わり合いが求められる実習へと進化していくでしょう。

社会福祉士会では、引き続きフォローアップ研修や、旧カリキュラムに基づく現任実習指導者向けのアップデート研修を実施する予定です。

皆さんと共に新しい実習指導の形を作り上げていくことを楽しみにしています！

（報告：人材育成・SV支援班担当理事 廣川真之輔）

2024.2.10、11、25@Zoom
ミーティング
2023年度社会福祉士
実習指導者講習会



ぱあとなあ
各地區研修報告

この回は、いわふね市民法律事務所（村上市）の佐藤克哉弁護士から「民法（相続法）改正で相続制度はどう変わる？～相続登記義務化とその内容～」と題してご講義頂いた。

相続法の基本である遺言、法定相続（相続分の調整）、遺産分割の進め方についての講義から始まり、配偶者や無償で貢献した親族の保護を強化した令和2年4月1日施行の法改正について、相続登記義務化を含む令和3年以降の法改正について具体例を交えながら丁寧にわかりやすくご教授頂いた。その上で、相続登記義務化に対して後見人等がとり得る現実的な対応として相続人申告登記制度についてもご教授頂いた。

質疑応答では、被後見人が死亡した際の入院費等の債務の支払についての質疑が出た。被後見人の相続人にそのままの状態で引き継ぐという対応の他、事例の状況によっては、裁判所と相談の上、被後見人の死後、後見人等が処理するという対応も取りうる旨ご回答頂いた。

まとめとして、専門職同士の顔の見える連携の大切さについても触れて頂き、非常に心強くも有意義な研修となった。

（報告：ぱあとなあ下越地区委員 齋藤哲英、鈴木優子、宮川雄紀）

下越地区
2023.12.16
@新発田市ボランティアセンター
13名参加

下越地区
2024.2.17
@新発田市ボランティアセンター
16名参加

自己紹介、運営委員からの連絡事項（2月定期報告について、年2回の研修会への参加について、名簿登録研修の次年度開催について、受任件数の目安の確認と後見人等が後見業務を行えなくなった時の備えについて、ぱあとなあ新潟で受け付けた苦情の概要とその後の対応について）の後、各会員から活動報告を受け、活動中の疑問点などについての意見交換を行った。生前贈与について、施設を探すにあたっての連携先について、自宅がない方が退院後に施設入所する場合の住民票について、利益相反関係についてなどの質問が出た。

また、初めて受任した会員の多くが、確定申告を初めて経験する事になると思われる為、確定申告について研修のような形で学ぶ機会があつても良いのではないかとの意見が出た。

（報告：ぱあとなあ下越地区委員 齋藤哲英、鈴木優子、宮川雄紀）

新潟地区運営委員より、成年後見制度をめぐる最近の動向として、「民法改正の検討に向けた当面の意見」について、また、日本社会福祉士会主催の「都道府県士会体制整備支援連続勉強会」の第3回「権利擁護支援の地域連携ネットワーク構築における社会福祉士会の役割」（11/22）の報告がなされた。

また、会員からの近況報告として、市長申立のケースで情報不足や誤情報があり対応に苦慮したこと、「ゼロイチアクション」の利用者からはトレーナーのサポートが心強く安心して後見活動ができること、相続人のいない被後見人の死亡後に請求があった施設利用料が宙に浮いている等の報告があり、様々な観点からの意見交換や情報交換が行われた。

（報告：ぱあとなあ新潟地区委員 周佐百合子）

新潟地区
2023.12.15
@オンライン
16名参加

ぱあとなあ佐渡地区研修の第3回。最初に皆で1月1日の地震後の対応で実際行ったこと、今後このような緊急時に何ができるかについて情報共有を行ないました。災害時要援護者台帳はあるが個人情報の関係で民生委員等に限定して配布されており発災時に役立つか疑問という意見や、地域の自主防災組織の強化が求められているのではないか、日頃より近隣にどんな人が住んでいて支援が必要な人の把握も大切であり、要支援者ごとに個別避難計画を立てておくことや、避難できた家に目印を立てるなどの具体的な意見も出されました。

災害時は地域力が大切であり専門職として地域に根ざした行動が求められているのではないかだろうかと感じました。その他、佐渡市からの見舞金の申し込みが3月末までなので被後見人宅の被害の確認の必要があることや被後見人が施設に入っている場合も空き家の点検が必要との情報提供がありました。

(報告：ぱあとなあ新潟地区委員 小菅宏卓・森山里子)

佐渡地区
2024.2.22
@畠野母子健康センター
8名参加

求人情報

社会福祉法人弥彦村社会福祉協議会 事務職員募集

勤務先	社会福祉法人弥彦村社会福祉協議会
勤務先住所	西蒲原郡弥彦村大字矢作4622番地
職種・人数	事務職員 1名
雇用形態	正職員または契約職員
勤務開始日	令和6年4月1日～
雇用期間	契約職員の場合は1年
業務内容	弥彦村社会福祉協議会が実施する地域福祉事業、介護保険事業等全般の事務のうち、主として権利擁護に関する業務
給与	正職員の場合： 月給158,600円～ 資格手当13,000円（社会福祉士） 他、扶養手当、役職手当、通勤手当等 契約職員の場合： 日給8,000円～ その他資格手当・通勤手当等あり
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険あり
勤務時間	8：30～17：30（休憩1時間）
休日	原則、土・日・祝日（※ただし交代での勤務あり）
詳細	https://www.yahiko-shakyo.com/cont4/main.html
連絡先	社会福祉法人弥彦村社会福祉協議会 TEL：0256-94-4511 メール：yashakyo@eos.ocn.ne.jp 担当者：斎藤 雄希

社会福祉法人見附福祉会 生活相談員募集

勤務先	デイサービスセンター坂井園
勤務先住所	見附市坂井町81番1号
職種・人数	生活相談員 1名
雇用形態	正職員
勤務開始日	随時
雇用期間	雇用期間の定めなし
業務内容	デイサービスを利用するご利用者と家族、ケアマネージャー等関係機関との連絡調整
給与	月給171,000円～280,800円 資格手当（社会福祉士資格所持の場合支給）、住宅手当、扶養手当あり
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険あり
勤務時間	変形労働時間制 ①8：00～17：00（休憩1時間） ②8：30～17：30（休憩1時間）
休日	週休二日制
詳細	ハローワークの求人票をご確認ください。 求人番号15040-9722031
連絡先	社会福祉法人見附福祉会 法人本部事務局 TEL：0258-63-6503 担当者：近藤 裕子

求人情報

公益社団法人 新潟県社会福祉士会 職員募集

(1) 地域生活定着支援センター相談員

勤務先	新潟県地域生活定着支援センター（新潟県社会福祉士会事務局内）
勤務先住所	新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
職種・雇用形態	相談員（嘱託職員）
雇用期間	令和6年4月1日～～令和7年3月31日（※延長の可能性あり）
業務内容	福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者の社会復帰の支援。 強制施設内で対象者と面談し、退所後に必要となる福祉サービスの聞き取りを行い、受け入れ先施設の調整や福祉サービスに係る申請支援など。
要件	<ul style="list-style-type: none">社会福祉士または精神保健福祉士資格普通運転免許（業務上、車を使用する機会が非常に多いです）
基本給	日給8,800円～10,400円
手当等	<ul style="list-style-type: none">資格手当10,000円／月（社会福祉士または精神保健福祉士資格所持の場合）ほか、通勤手当、住宅手当、扶養手当あり
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険あり
賞与	2023年度実績 3.25ヶ月
勤務時間	8：30～17：30（休憩1時間）
休日	原則、土・日・祝日及び年末年始（※年間数日程度、土日祝の出勤あり）

(2) 事務職員

勤務先	公益社団法人新潟県社会福祉士会
勤務先住所	新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
職種・雇用形態	事務職員（パート）
雇用期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日（※延長の可能性あり）
業務内容	新潟県社会福祉士会が実施する事業（各種研修の企画・運営、行政からの委託事業等）に係る記録作成やデータ入力、会員や関係機関からの電話・メール等での問合せ対応・連絡調整、その他事務作業
要件	パソコン操作ができる方（Word、Excel、メールソフト）
基本給	時給1,000円～1,100円
手当等	通勤手当
社会保険	労災保険、雇用保険
勤務時間	8：30～17：30のうちの4時間（就業時間の選択可能）
休日	原則、土・日・祝日及び年末年始

お問合せは（公社）新潟県社会福祉士会事務局まで TEL：025-281-5502

お知らせ いろいろ

▼ 2月22日開催の理事会にて、生涯研修センター運営委員に、新たに2名を追加されました。

三浦佳代子さん

(会員番号 64067)
桃井 駿さん

(会員番号 48621)

理事会・内部役員会より

▼ ぱあとなあ新潟・中越地区運営委員に、新たに1名を追加

2月22日開催の理事会にて、ぱあとなあ新潟・中越地区運営委員1名の追加が承認されました。

▼ 令和6年能登半島地震に関する対応について

会員活動部

▼ 繋がり力フェス2024
春の陣(土)に開催します

事務局より

▼ 2024年度年会費 口座振替予定について

2024年度年会費の口座振替予定日は「5月13日(月)」です。

(年会費15000円+手数料121円)

振替口座について確認されたい場合は事務局までご連絡ください。

各部門より

ぱあとなあ新潟

▼ 2024年度成年後見人材育成研修の受付を開始します。

生涯研修センター

▼ 2024年度基礎研修の受付開始しました

生涯研修センター運営委員会が担当する基礎研修は、集合研修回数や事務業務がとても多いです。委員の増員により基礎研修運営全体のさらなる円滑化を図るものです。また、今回追加した運営委員が今後の講師候補となることも予定しています。

2024年度の基礎研修のご案内(開催要項等)を当会ホームページに掲載しました。基礎の申込締切は5月17日、基礎□と曰の申込締切は4月15日です。

専門職後見人を養成する「成年後見人材育成研修」の2024年度申込受付を開始します。詳細は今回同封の開催要項、または当会ホームページをご覧ください。

2024年度の本研修は、オンラインではなく、全日程(4日間)をユニゾンプラザでの集合型で実施します。

ぱあとなあ新潟中越地区は名簿登録者数、受任ケース数が多く、会員からの相談対応や活動報告書チエック等に対応するための委員増員です。

ぱあとなあ新潟中越地区は名簿登録者数、受任ケース数が多く、会員からの相談対応や活動報告書チエック等に対応するための委員増員です。

▽ 2024年度「自主活動支援制度」の利用登録申請について

部活動メンバー募集

自主活動支援制度についてはこちら
(会員専用)



当会では、会員が、他の会員や社会福祉士、福祉関係者等とのネットワーク構築や研鑽を行う目的的な活動を支援する「自主活動支援制度」を設けています。この制度では、活動を行うグループに對して経費補助や広報のサポートなどを行います。

2024年度の制度利用登録を希望する場合は、ガイドラインに沿って利用登録申請手続きをお願いします。ガイドライン、申請書類は、当会ホームページの会員専用ページ「会員の活動を支援する制度」に掲載しています。

*ガイドラインに利用対象となる条件・支援内容・利用手続き方法・制度を利用した場合の会員へのフィードバック方法・注意事項などを定めています。ガイドラインをよくご確認ください。

*支援内容として助成金(経費補助)を希望する場合は、利用を希望する2024年4月30日までに「利用登録(助成金)申請書」(様式A)をご提出ください。

△ ここは「会員さんとこういう部活動を作りたい!」という人が、部活動メンバーを募集できるコーナーです。スポーツや趣味活動など、仲間づくりにご活用ください。

△ 部活動の責任主体は会員さん自身であり、会が運営や経費補助に関わることはありません。事務局によりでのメンバーミーティング記事掲載のみお手伝いします。また、部活動における会員間のトラブルには当会は一切関与いたしません。

△ このコーナーでメンバー募集をしたい方は、事務局へ、①氏名、②会員番号、③連絡先メールアドレス、④クラブ名、⑤PR文章(100文字以内)をご連絡ください。

△ このコーナーに掲載された部活動に参加したい方は、掲載されている代表者のアドレスへ直接メールでご連絡ください。

新しい働き方を考えるクラブ

△ 社会福祉士会員による野球部を立ち上げたいと思います!

△ 未経験者、男女問わず誰でもOKです。ある程度人数が決まつたら、活動場所や日程等考えます。一緒に楽しく活動しませんか?お気軽に連絡ください♪

△ クラブ担当
久保田 勇介
(会員番号 61612)

連絡先メールアドレス
(久保田) f148exceed@mail.n-seiryo.ac.jp

△ ちまたで言われている『働き方改革』や社会福祉士の活躍の場の多様化など様々な動きが出てきています。このクラブではフリーランスなど新たな業態を模索したり、社会資源の拡大、ネットワーク形成を考える会です。Zoomを使った開催を考えていますが、開催頻度など、これから参加希望される皆さんと一緒に考えていただきたいと思っています(時にお食事会もあります)。集合の場合、子どもさんと一緒に参加でも構いません。

△ クラブ担当
稻田 泰紀 (会員番号 18464)
土田 純一 (会員番号 54963)

連絡先メールアドレス
(稻田) cgxbt128@ybb.ne.jp
(土田) jun1.tsuchida@gmail.com

退職のご挨拶

神田由起子さん

(事務局員)



このたび、令和6年3月31日をもちまして退職することになりました。新卒で入社してから16年間という長きに渡り、皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。何もわからない私に丁寧に教えてくださり、また、会の活動に快くご協力くださる皆様のおかげで多くの学びと出会いがございました。福祉関係からは離れます
が、事務局での経験を活かせるよう頑張ります。

今後は、一員としてようろしくお願い申し上げます。

坂井賢さん

(定着支援センター相談員)

加害者支援と言われた地域生活定着支援センターの職員になり11年が過ぎました。気が付くとそれは加害者となつた被害者の立ち直りを

支える日々でした。罵声もあり歎声もありの社会福祉の現場に身を置けたことは、ソーシャルワークを自分問い合わせ続ける大切な時間と時間とありました。支援させていた方々、一緒に取り組んでいたただいた関係者の皆様に感謝いたしました。ありがとうございました。ありがとうございます。ありがとございました。

那須野雅さん

(定着支援センター相談員)

残念ではありますがあの度、年度末の契約満了をもつて退職することとなりました。いろいろと取り組んでいきたいイメージを持つていたので、本当に残念です。司法福祉という概念です。司法域で、刑務所など不慣れな場所ばかりでしたが、それでもソーシャルワーカーがめられていること、活かすこと、役に立てる実感できたのは、大きな産になりました。これからも精神保健福祉士協会でお世話になると思います。よろしくお願いします。

最近届いた書籍や刊行物

事務局で閲覧できます

書籍名	発行元	発行年月
月刊福祉2月号（特集：第三者の視点を入れる、利用者の声を聞く）	全社協	R6年2月
月刊福祉3月号（特集：「共に生きる力」を育む）	全社協	R6年3月
実践成年後見 No.109（特集：成年後見制度と介護サービス事故への対応）	民事法研究会	R6年3月

書籍名	発行元	発行年月
日本社会福祉士会三十年史	日本社会福祉士会	R5年12月
ソーシャルワーク実践の道—佐賀県社会福祉士会の挑戦—《30周年記念誌》	佐賀県社会福祉士会	R5年11月
令和5年度成年後見制度に関する実態調査結果報告書	新潟県社会福祉協議会	R6年1月

編集後記

先日ある会員さんに教えていただいたのですが、私の誕生日がSnowManの目黒蓮さんと同じ日なんだそうです。私自身は大ファンというわけではないのですが、なんか嬉しかったです。素敵ですよね目黒さん。

その会員さんからいろいろSnowManのメンバーについて教えていただいたのですが、彼女がとっても楽しそうに話してくださって、推し活めっちゃ楽しそうだなあと思いました。

会員のみなさんの「推し」、ぜひお聞きしてみたいです（は）



2024年度 基礎研修

申込み受付を開始しました
仲間と一緒に学びませんか

基礎研修 I
社会福祉士としての基盤を振り返る

基礎研修 II
社会福祉士としての知識・技術を強化する

基礎研修 III
価値・知識・技術と実践とをつなげる

※ I、II、IIIを同年度に受講することはできません。基礎研修 I の全課程を修了した翌年度以降の基礎研修 II を受講でき、基礎研修 II の全過程を修了した翌年度以降に基礎研修 III を受講できます。

各研修の詳細（開催要項）・お申込みは、右記QRコードから当会ホームページをご覧ください
<https://csw-niigata.com/>

問合せ (公社)新潟県社会福祉士会

新潟市中央区上所2-2-2新潟ユニゾンプラザ3階
TEL/ 025-281-5502 FAX/025-281-5504 Mail/ njacsw@poplar.ocn.ne.jp

